

四月九日

一 八軍大佐 山本九尉 業務 打合せ 爲

目 西部軍司令部 出張 爲

二 釘屋 津原 大尉 飛行場 偵察 伊江島 出張 爲

三 輸送部隊 七尉 那智 瀬 入 港 在 員 異 状 ナク

四 陸軍 待機 隊 六尉 那智 瀬 入 港 在 員 異 状 ナク

五 陸軍 待機 隊 六尉 那智 瀬 入 港 在 員 異 状 ナク

六 陸軍 待機 隊 六尉 那智 瀬 入 港 在 員 異 状 ナク

七 陸軍 待機 隊 六尉 那智 瀬 入 港 在 員 異 状 ナク

輸送部隊 五 陸軍 待機 隊 六尉 那智 瀬 入 港 在 員 異 状 ナク

五 陸軍 待機 隊 六尉 那智 瀬 入 港 在 員 異 状 ナク

六 陸軍 待機 隊 六尉 那智 瀬 入 港 在 員 異 状 ナク

七 陸軍 待機 隊 六尉 那智 瀬 入 港 在 員 異 状 ナク

八 陸軍 待機 隊 六尉 那智 瀬 入 港 在 員 異 状 ナク

九 陸軍 待機 隊 六尉 那智 瀬 入 港 在 員 異 状 ナク

十 陸軍 待機 隊 六尉 那智 瀬 入 港 在 員 異 状 ナク

十一 陸軍 待機 隊 六尉 那智 瀬 入 港 在 員 異 状 ナク

陸軍

4. 内南洋 欠 (四七)

5. 外南洋 欠 (三三)

6. 北東 三 (六)

7. 南東 一四 (三三)

8. 西岸 三 (六)

四 晝夜別出現回数 晝一六三(三七) 夜二五三(二六)

四 被雷撃晝夜別回数 晝一三三(三七) 夜四(五)

四 觀察 一般 味方 飛行機 敵 偵察 機 在 海 域 待 期

三月十日

三月十日

三月十日

三月十日

三月十日

三月十日

三月十日

三月十日

三月十日

三月十日

三月十日

三月十日

三月十日

三月十日

三月十日

島嶼 我方 確保 シカリ

2. 米本洋艦隊司令部八四夜少エーノ島ヲ攻撃手文 ルビガ表ナリ	3. 攻撃機ハB24型ニ機ナリ	甲司令部	機隊	視察ニ	早川本尉少尉隨行ス	(天)	晴	精空軍	水熱力
1. 米空軍兵力ハ四〇〇機以上ニシテ五〇ハニハノ機内外 〇桂林以東ハ各雲南以西ニ飛送シカリ 2. 敵空軍ハ主トシテ南支佛印方面ヲ據守シカリ 中支ニ四十六機、南支十四回六十七機 佛印支四十五機、各機ニ回三機 計三十五回 一六一機ナリ									

3. 柳州新城飛行場ハ大擴張ヲ企圖シカリ 南陽、河南省ニ建設セシムルニ思ハレ、 作戰準備ニ専念シカリ	四月十一日	(水)	晴	和才大尉 田村大尉 隨行ス	和才大尉 田村大尉 隨行ス	和才大尉 田村大尉 隨行ス	和才大尉 田村大尉 隨行ス	和才大尉 田村大尉 隨行ス	和才大尉 田村大尉 隨行ス
1. 苗目軍曹等ニシテ夜ニ三機 海岸ヲハシニシ 2. 中支九部潜水艦、攻撃手ヲ送リ沈没ノ虞ナリ 3. 海軍航空隊ヨリ左記連絡ヲ受領ス									

	人口三三〇 海軍航空隊
	2 北緯三八度〇分東經一二八度六分台件
	丸状落下
	3 舊機艦ツハメ所に爆雷攻撃管制屋中
	4 槍美愛空より左記連絡ヲ受領ス
	山口中丸電報 難情報ニ依ルニヤダ子ニ緊急
	塔台ニ轉移ス
四日三言	一 本陣司令官 船 徹兵検査ヲ視察ス
(永)	二 美空より左記情報ヲ受領ス
晴	1 台中丸雷撃手銃ニ三番船艦ニ命中五分ニ
	シテ北没ス
曇	2 乗員八九 船客総数三三三
曇	3 收容人員一五六 内船員六六 船客八七
曇	件

陸軍

	海軍砲員三 残存ハ不明ナリ
	收容人員中 重傷一 軽傷五ニ死七一
	三 防衛司令部より左記情報ヲ受領ス
	1 十月上旬島南方四八〇海里航母三隻又
	巡洋艦 駆逐艦四隻
	機動部隊四隊中
	ハワイル及子ハハハ通信シ
	在ヤトニハ浦島トハワイル基地通信ヲ探ナリ
四日三言	一 本陣在徳長官司令部訪問 軍司令官
(全)	二 各幕僚ト懇話ス
晴	三 航空要塞ヨリ左記連絡ヲ受領ス
飛行機不	スニ上 獨立飛行第七中隊機十二日
晴着件	一六〇〇 石垣島大空飛行場ニ不時着ス

人員機件共異状ナシ

冒書

〇台湾戦、左記情報に後續ス

晴

一 勝浦丸 一八一五

又北緯二六度八分東經三二度五十分 稽望
鏡子ニヤカク發見ス 確カニ甲

機初部

ニ參謀本部ヨリ左記情報ヲ受領ス

隊主現件

一 北緯二六度三十分下島ニ有力な機初部隊出現

カズニ 附近ニ對シ上陸ヲ企圖シテト利斷ス

二 第一群、一ノ島一ノ方四六リ、大型航母ニ

進路一六方、連力一八節

三 第二群、第一群、四ノ方一〇哩、航母三、其他七

進路也

四 第三群、カズニ、六六方一〇哩、航母二、其他四

進路ニ九方、連力ニ〇節

五 第四群、カズニ、一五方八〇哩、航母二、其他五

進路ニ七方、連力六節

右ノパラチキ未詳。機初部隊、一部在機ニ入ルニ

主力ハ別個ノメモニ報告セラル

敵海軍司令部ヨリ左記情報ヲ受領ス

一 南方海域、敵海上機初部隊ニ見ス

又敵海上機初部隊ハ依然南方方面ニ在リ

作戦ノ進捗ニ及リテト判断ス

四 軍八要案、建築中隊ニ付テ展開ノ命ニ(別紙)

五 梅田軍曹、四軍、常道員トシテ出發ス

冒書

一 十三日、本陣、本陣、本陣

晴

ニ參謀部勤務、赤穂任長、小澤任長ト交替ス

3. 近時于島に於て敵の空襲甚しき事小艇より

報告あり

敵潜水艦 沖大東島海軍部隊より左記通報を受領す

島砲事件 沖大東島八日〇〇九敵艦の沈没を云ふ

又兵員住民被害調査中

四月九日 一、本島より速由會報に自旋す

(永)

二、本島射撃場射撃隊より本島南東部に於て

晴 三、三島より左記通報を受領す

四、大日〇〇五〇敵艦二隻三島西方ニ浮上

約四〇分沈没す

又建築損害約一〇〇圓人員其他異状ナシ

民心安定す

陸軍

四、本島軍より左記情報を受領す

一、米方軍司令部に於て結果第二九集團司令

八第八〇師長 湯田白大島奪還を命ず

又第八師長 李長第 八二五、二四二ヲ浦田

福建ニ集結作戰計畫中

五、防衛司令部に於て情報を受領す

六、南東方面に於て敵機動部隊策動開始徴す

七、三月三日米B24型主力ヲ以テ中部太平洋

方面爆撃を云ふ加へテ一方艦隊も亦増

加せり

八、敵の天候不良夜間は何處置ハズ来能者ヤリ

九、支那方面に於て一部ノ要空軍人既ニ支那

南島ニ進出スル事ト判断セリ

